

【イベントレポート】約 500 名が参加！「カイポケフェスタ 2018in 東京」

～直前に迫る医療・介護報酬同時改定に向け、具体策を紹介～

株式会社エス・エム・エス（代表取締役社長：後藤夏樹、東証一部、以下「当社」）は、3月11日（日）にベルサール夕留にて「迫る！ 2018年医療・介護ダブル改定の情報と対策事例～カイポケフェスタ 2018 in 東京～」(以下「当イベント」)を開催し、約500名の方々にご参加いただきましたので、ご報告します。

【主な内容】

同時改定に向けた具体策を様々な角度から解説

全3部制のセミナーではまず、東洋大学准教授の高野龍昭氏から、2018年介護報酬改定、診療報酬改定の概説とおさえておくべきポイント、2021年度改正に向けた課題などについて解説していただきました。

続いて第2部では、2名の介護事業経営者より、医療・介護報酬同時改定に向けた具体的な対策として、売上アップや人材定着・採用、業務効率化について各社の事例を交えながらお話をいただきました。

第3部では介護保険事業を軸に幅広く事業を展開している介護経営者より、新たな事業を始める際のポイントや、実際に始めた新事業について具体的にお話をいただきました。

計18社から出展・協賛をいただいた福祉機器展示会では、最新の介護・福祉関連商材の情報収集や、福祉機器体験をする参加者も多数いたほか、参加者同士の交流も行われていました。



当日の様子

【参加者の声】

「改正への対策も含め、将来を見据えた計画を立てることが大事だと感じた。すごく参考になった」
「医療介護連携、現場の話などトータルな話が聞けたので来て良かった」
「報酬改定のことはもちろん、効率的な事業所運営についても知ることができ、満足している」

今後も「カイポケ」はICTの活用による介護事業者の生産性向上と経営効率・サービス品質の向上を支援していきます。

【「カイポケフェスタ」とは】

今年で5年目を迎える、当社が主催する完全無料のセミナー・展示会イベントです。「介護経営」をテーマに、介護経営者はもちろん、ケアマネジャー・介護職員・事務職員など、介護に関わる全ての方を対象としています。

【「カイポケ」とは】

「カイポケ」は、介護事業者の経営・財務安定化及び業務負担削減をサポートし、介護事業者が目指す「理想の介護」実現を全面的に支援するサービスです。現時点で採用支援サービスや営業支援サービスなど約40の経営支援サービスを展開しており、全国約20,750事業所の介護事業所が会員となりご利用いただいています。<http://ads.kaipoke.biz/>



【報道関係のお問い合わせ】 介護事業 PR 担当 竹原（たけはら） 電話：03-6777-1203 mail：kaigoprinfo@bm-sms.co.jp
※本ニュースリリースは、厚生労働記者会にも配布しています。

株式会社エス・エム・エスとは

2003年創業、2011年東証一部上場。「高齢社会に適した情報インフラを構築することで価値を創造し社会に貢献し続ける」ことをミッションに掲げ、高齢社会を介護・医療・キャリア・ヘルスケア・シニアライフと捉え、「高齢社会×情報」を切り口にした40以上のサービスを開発・運営しています。